

別紙4 第二次審査選定基準（ヒアリング）

大項目	中項目	No	評価内容	評価点	加重	得点
提案者に関する項目	業務推進体制	1	これまでの導入実績を当該業務に生かすことができるか。	5	1	5
		2	本業務を安定して稼働するための業務推進体制が整っているか。	5		5
提案内容に関する項目	本業務に対する姿勢	3	本業務の目的を理解しているか。	5	1	5
		4	本業務に係る取り組み方針が明確か。	5		5
		5	本業務を実施するための十分な意欲、姿勢が感じられるか。	5		5
	技術要件 (CMS全般)	6	市民（ユーザー）目線のホームページを作ることができ、専門的な知識がなくても、アクセシビリティ対応ができる仕様であるか。	5	2	10
		7	市職員がデジタル技術の優劣関係なく操作しやすい構造であり、見やすいホームページに直結する仕様であるか。	5		10
		8	サイトデザイン・サイトレイアウトが改善され、情報を探しやすいホームページになることが期待できるか。	5		10
		9	本市の魅力が伝わり、「高松らしさ」が伝わるデザインとなっているか。	5		10
		10	災害や感染症等の緊急情報について、その規模に応じて効率的、効果的に発信できるものとなっているか。	5		10
		11	職員のページ作成負担を低減し、記事の質を向上できる機能であるか。	5		10
	技術要件 (生成AI)	12	ホームページの管理部門の負担を、生成AIとの対話形式で低減できる機能であるか（例：リンク切れの自動抽出、不要ページの削除提案機能等）。	5	2	10
		13	生成AIの機能は、CMSに内蔵されたものであり、使用しやすくセキュリティが強固なものであるか。	5		10
		14	将来的な市民活用も検討できる、拡張性を持った機能であるか。	5		10
	技術要件 (データ連携)	15	高松市地理空間データ基盤及びオープンデータに関する知見を有し、ホームページとの連携を見据えた提案をしているか（連携実績がある事が望ましい）。	5	2	10
		16	CMS内に高松市スマートマップをパーツとして内蔵（API連携）することができ、地図活用による視認性向上を実現できるか。	5		10
17		オープンデータとCMS間のデータのやりとりが容易であり、市職員の事務負担軽減に繋がる可能性のある提案をしているか。	5	10		
セキュリティ対策	18	インフラ（セキュリティ）について、強固な環境を用いた提案であり、世界水準のセキュリティを常に活用できるものであるか。	5	2	10	
	19	ホームページの障害（アクセスできない状態）が起こりにくい構造であるか。また、有事のアクセス集中にも耐えうる構造であるか。	5		10	
	20	近年発生しているシステム障害の要因を理解し、本業務において同様な事象が起こらないように、適切な対策を講じているか。	5		10	
保守・運用	21	システムを問題なく運用可能な人員体制が整えられているか。	5	1	5	
	22	システム障害発生時の対応方法、作業手順等、連絡方法等が明確となっているか。	5		5	
	23	簡易な修正対応等、品質を維持するための具体的な支援策の提案があるか。	5		5	
	24	運用開始後もホームページの情報発信力を向上させるためのサポートがあるか。	5		5	
職員研修	25	必要な研修内容と研修対象者を具体的に提案しているか（具体的な研修実施方法が記載されているか）。	5	1	5	
	26	アクセシビリティの必要性を職員に認識させるための研修が提案されているか。	5		5	
独自提案 (システム構築)	27	仕様書外の提案として、市民サービスの向上や職員の業務効率化等、DXにつながる提案があるか。	5	2	10	
	28	仕様書外の提案として、長期にわたりホームページの情報発信力を維持・向上させるための有用な提案があるか。	5		10	
その他	ヒアリング内容	29	プレゼンテーションの内容が簡潔・明瞭であるか。	5	5	25
		30	質問等に対する回答が明快であるか。	5		25
		31	実績、企画、提案等を総合的に判断し、本業務を行う能力が十分であるか。	5		25
合計						300

●価格

提案者が提出した見積額に対して、以下のとおり価格点を配点する。

提案価格÷予定価格×100で算出される数値（%）に応じて採点（小数点以下切り捨て）

100%～90%：20点 89%～80%：40点 79%～70%：60点 69%～60%：80点 59%以下：100点